

2008年12月 鋸岳

日時 : 2008年12月6~7日
メンバー : 白土(L)、菊地、伊藤、後藤(記)

2年前の秋 甲斐駒～鋸岳～横岳峠を歩いた時、起伏の激しいこの尾根を積雪期に一度登ってみたいと思っていた。

冬合宿 北鎌尾根パーティーのトレーニング山行の一つとして鋸岳の計画があり、募集もあったので応募したところ OK がでたので参加することとなった。

12月6日(晴後曇り後小雪)
戸台～角兵衛沢コル

河原にある戸台の駐車場へ入る道がはっきりせず、駐車場の手前7、80m手前の林道に車を止め6時前に出発した。戸台川の平坦な河原を2時間ほど歩き角兵衛沢の出合に到着した。

ここで北鎌尾根メンバーの白土さん、伊藤さんはお手製のオーバーシューズを履いての徒渉訓練。オーバーシューズの構造は、材質 厚手のビニール袋、靴底となる部分はガムテープで補強を施し、股までの長さ、腿の位置でシュリングで固定。水深2、30Cmの川幅3、4mの場所でオーバーシューズの機能確認の為5、6回の徒渉を繰り返していた。調子はなかなか良さそうに見える、本番でも上手く行くのではないかと思った。

角兵衛沢の登りは樹林帯を抜けガレ場にさしかかる頃から雪が現れてきた。雪は浅くガレ場の石ころをうっすらと埋めてる程度で締まっておらず、傾斜も強く非常に歩き難い。北鎌メンバーはトレーニングを積んでいるため早く、どんどんと離されていく。とうとう後から来た4人パーティーにも追いつき、抜かされてしまう。彼らは鋸岳から甲斐駒までの縦走とのこと、20分ほど遅れ強風で小雪の舞う角兵衛沢コルに着く頃には用具を装着し登攀準備をしていた。今日の宿泊予定のコルでテントを張り終える

頃、彼らは強風のなか鋸岳を目指し歩き始めていった。

12月7日(晴)
天場～中ノ川乗越～熊穴沢～駐車場

今日は起伏の大きな尾根歩き、風も納まり天気は晴れ。

ルート案内(チャレンジアルパインクライミング:東京新聞出版局)では角兵衛沢コルから中ノ川乗越までの水平距離にして5、600mの間に第一、第三、第二の三つの高点の記載がある。1/2.5万の地形図では細かくてはっきりしないが、この間ピークは4カ所あるように読み取れる。1ヶ所は10mほどのピークなので省略されているのかもしれない。地形図から第一高点は2685mの鋸岳、第二高点は2675mのピーク、第一と第二高点に挟まれた2650mほどのピーク(ルート案内では中岳の記載)が第三高点を指しているのか。

その他 特徴的な地形として第一と第三高点の間に小ギャップと岩が中空となっている鹿窓のトンネル、第三と第二高点の間に大ギャップがある。

積雪は2、30mと少なく、尾根道であることと前日の4人パーティーの踏跡も有り順調に進む。第一高点 鋸岳を通過し10mほどの小ギャップを懸垂で降り、直ぐに鹿窓のトンネルに着く。ロープを使用しない夏道はこの鹿窓を潜り抜けルンゼと云うよりはガレ場を150mほど降り、枝尾根を登り直接第二高点へ出るルートとなる。

我々は尾根を辿り第三高点と大ギャップへ向かう。対向する岩との距離5、6mの垂直な大ギャップを20mほどの懸垂下降、下降地点は2、3人が立つのが精一杯のスペースに降り立つ。狭いルンゼを7、80m降り左ヘトラバース

し第二高点からの枝尾根に取り付き登り返す。
第二高点からガレ場を降り平坦な中ノ川乗越
に到着、前日のパーティーのテント跡があり踏
跡は甲斐駒ヶ岳に向かわず熊ノ穴沢を下降し
ていた。我々も計画通り熊ノ穴沢を降り、戸台
へと向かった。

コースタイム

12月6日

戸台駐車場(5:50) -角兵衛沢取付(8:00/40
徒渉トレ) - (10:10/20) - (11:25/35) -
角兵衛沢コル テン場(14:00)

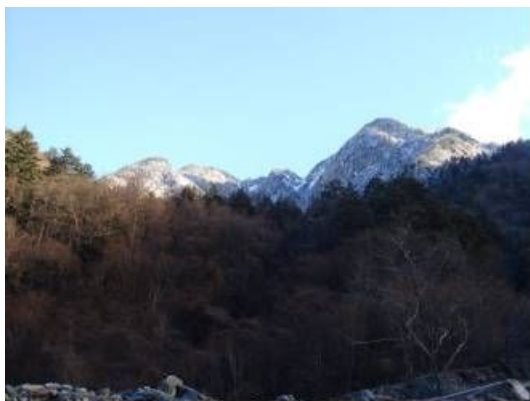
12月7日

テン場(6:50) -小ギャップ手前(7:50/8:
00) -大ギャップ(8:35) -中ノ川乗越(9:
01) 10/30) -熊ノ穴沢出合(11:20/40) -戸
台駐車場(14:20)

地形図

駒甲斐駒ヶ岳 (1 / 25000)

角兵衛沢の出合から鋸岳



角兵衛沢 途中で一休みの白土さん



お手製オーバーシューズの伊藤さん



鋸岳 山頂



大ギャップ下降中の伊藤さんだい



小ギャップ下降中の伊藤さん



大ギャップ下降中の菊地さん



鹿穴



熊ノ穴沢出合からの鋸岳

